

個人質問

しんわかい
津和会

あおき ひであき
青木 秀晃

録画映像



問 一志地域における工業団地造成について問う

一志嬉野インターチェンジに近く、良好なアクセス道路にも恵まれた用地がある一志地域では、旧一志町時代に工業団地を検討したこともあったが、断念した経緯がある。

しかしながら、降雪の少ない一志地域には、企業誘致をし、工業団地として造成していく可能性があると思うが、行政としてどのように取り組んでいくのかを問う。

答 現時点では公的に工業団地の整備に着手する予定はない

津市では、令和5年度から、民間事業者を活用した新たな工業用地の候補地提案募集事業を開始し、同年度内に候補地を選定する予定である。この背景として公的工業団地の整備では、長期間を要することから、急速に変化する社会情勢や企業ニーズに対応できないため、専門的なノウハウや資金力等を有する民間活力の導入により、速やかに工業用地を確保することを目的に取り組んでいる。この取り組みにより、今後津市において、企業ニーズに沿った一定規模の工業用地が整備されると見込んでおり、現時点では、公的に工業団地の整備に着手する予定はない。

その他の質疑・質問

- 聞こえづらい防災無線について
- 体育館の空調について
- 船舶の不法投棄について
- 路上荷捌きについて

など

▶
一志嬉野インターチェンジ近隣の工業団地



個人質問

しんわかい
津和会

やすだ しょうへい
保田 勝平

録画映像



問 津市コミュニティバスの再編について問う

バス停まで歩くのがつらいという市民の声は以前から上がっていたと推察されるが、令和6年度に実証実験を行うデマンド型交通は、令和3年4月の津市コミュニティバス再編時に導入すべきだったのではないかと推察される。また、ライドシェアについて、令和6年度の導入に向けて動き出している自治体もあるが、津市における検討状況はどうなっているのか。

答 国の動向を注視し、ライドシェアの調査・研究をしていく

令和3年度の津市コミュニティバス再編時には、バス停まで歩くのがつらいという意見はあまりなく、路線の延長や停留所の新設という要望が多かったことから、定時定路線型の運行により再編を実施した。

ライドシェアについては、タクシー事業者が運行主体となり一般ドライバーが自家用車で客を運ぶ制度が令和6年4月に開始される予定であるが、現時点で制度の詳細は不明であり、また、タクシー事業者以外が実施するライドシェアについても議論を進めていくとされていることから、引き続き国の動向を注視しながら調査・研究していく。

その他の質疑・質問

- 議案第38号 令和6年度津市一般会計予算
 - 小学校水泳授業における民間プール・公用プールの利用と学校プールの共用化の考え方について
 - 私立保育所等の新設における基準について
 - 災害対策強化について
 - 災害時協力井戸の水質調査や登録促進について
 - 自主防災組織への情報提供や支援について

▶
主に自動車を運転しない市民にとって、利用しやすい交通手段が求められる

